

山岳マラソン大会

棚山高原～鳳来寺山を走る

1973(S48)年、棚山小舎の開設に合わせ第1回山岳マラソン大会は開催された。以後、中断時期もあったものの1997(H9)年までに計19回実施された。第2回大会以降のコースは主に棚山高原～鳳来寺山を往復するというもので総距離約7.6km最大標高差約350m。地形は岩場あり、鉄梯子ありの痩せ尾根であった。

第1回大会は、山岳強歩大会というスタイルをとり、登山靴を使用して行われたが、第2回大会以降は、会員同士の競技意識が高まり、運動靴を使用した長距離競走的なイベントとなった。コースが厳しいこともあり毎回、途中棄権者が出る程の過酷な大会であった。そのような状況の中、中山秀樹は第6回の初参加から他を圧倒し、参加する全ての大会で優勝を飾った。

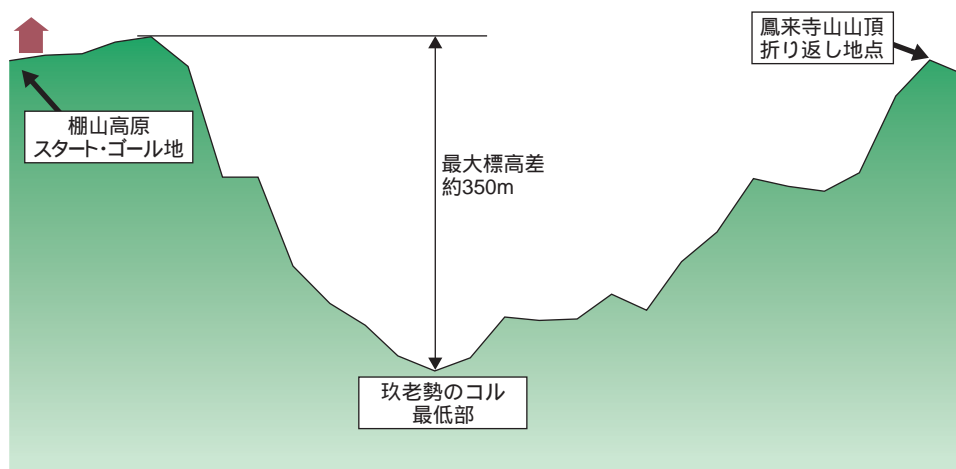
現在のコースレコードは1981(S56)年第9回大会で中山秀樹が記録した、1:09:00である。



1976(S51)年 創立20周年記念(第4回)山岳マラソン大会



1981(H1)年 第15回大会 競技風景(走者 中山秀樹)



棚山高原～鳳来寺山間ルート断面図